

～ All for one, One for all. ～

しかし、わたしたちを愛して下さったかたによって、わたしたちは、これらすべての事において勝ち得て余りがある。わたしは確信する。死も生も、天使も支配者も、現在のものも将来のものも、力あるものも、高いものも深いものも、その他どんな被造物も、わたしたちの主キリスト・イエスにおける神の愛から、わたしたちを引き離すことはできないのである。

ローマ人への手紙

第八章 三十七～三十九節



光の家

THE LIGHT HOUSE FOR THE BLIND

視覚障害者総合福祉施設
東京光の家会報

— 207 号 —

2020 年 8 月 1 日発行



地域の方から寄贈された手作りマスクをして作業を行う利用者

巻頭言

盛夏のおうかがいを申し上げます。

今月号は「東京光の家一〇一年目に向けて」というテーマで東京光の家が百年の歴史を土台にどのように新たな一歩を踏み出していくかについて方向性を示させていただきました。

また、ウィズコロナとなった今、東京光の家のコロナ感染防止対策についての取り組みをご報告させていただきます。

コロナによって利用者の生活にいろいろな制約が出てきている中、感染を防ぎながら基本方針の生活には喜びをうを実現していかねければならないと思っています。

このことはある意味難しく、試行錯誤ではありますがこれもニューノーマル（新しい常態）として受け入れていこうと思っています。

（理事長 石渡 健太郎）

東京光の家一〇一年目に向けて

東京光の家理事長 石渡 健太郎



昨年度はお蔭様で東京光の家創立百周年を無事に終えることができましたことに深く感謝申し上げます。

さて今年度に入り東京光の家は一〇一年目を迎えている訳でございますがこの一〇一年目の第一歩というのは今後の東京光の家の方向性を決めるとても重要な一歩となると思っています。

昨年、東京光の家百周年記念誌を作成した際、そのタイトルを「愛をつなぐ～過去・現在・そして未来へ～」としましたが、東京光の家は過去の百年の歴史を土台に現在という今があり、そしてそれは未来へと繋がっていくこととなります。

その際に一番大切に行っていることは、東京光の家の基本理念である「盲人に聖書の福音を」という創立者のキリスト教精神をしつかりと受け継いでいかなければならないということです。そしてキリスト教の愛を受け繋いでいくという思いで「愛をつなぐ」というタイトルにしました。

このことをしっかりと実践していくために今年度の事業計画の中に「職員の理念の浸透とその心構え」という目標を掲げました。

具体的には東京光の家の基本方針にある「愛と奉仕の心で誠実な業務を」をよく理解した上でそれを利用者支援に活かしていくことであると思っています。

「神の愛」は自己犠牲の愛であり職員は奉仕の精神で利用者一人ひとりに愛を持って自己を捧げて欲しいと思います。それは必ず利用者の一人ひとりに伝わり、光の家の基本方針である「安心と安全と希望」生活には喜びを」を實現でき、今現在の利用者の笑顔

と生きる喜びに繋がっていくと思います。

コロナ禍の現在、東京光の家の取り巻く環境は普段の日常生活や行事等にいろいろな制約を受けていますがなるべく利用者の生活には喜びを」というところに配慮しながら行っていきたいと思っています。

今後の東京光の家の歩むべき方向性としてはもちろん感染者を出さないためのコロナ対策をしつかりとしていくと同時にニューノーマル(新しい常態)を始めたとしてコロナ後の世界を見据えて対応していくことが必要だと感じています。ニューノーマル(新しい常態)はある意味、コロナ前の状態に戻ることはなくて違った状態の環境変化に対応していくことかもしれません。特に急速なデジタル革命によって働き方や生活スタイルも大きく変わっていく可能性があります。

東京光の家でもその流れの中で法人全体のプラットフォームとして業務支援ソフトを導入しオンライン化したりオンライン会議等を行いながら電子化や業務省力化を図っているところです。その一

方で情報格差が起り、情報格差が経済格差や個人格差に発展する世の中になってきました。また、経済がコロナによって不安定になる中、倒産や失業により生活保護受給者も増えてきています。

そして、分断による脱グローバル化や人種差別といった世界レベルでの問題も浮上してきています。このような新たな課題に直面している世界は「誰一人取り残さない」という理念であるSDGs(持続可能な開発目標)を掲げて解決していくと思っています。

東京光の家も社会福祉法人として十七項目のSDGsの目標のうち貧困をなくそう、平等をなくそう、住みやすいまちづくりを、パートナーシップを強めよう、等に参加できると思っています。そして分断ではなく共生、協力、連携によって社会福祉を通じて「地域共生社会」を實現していかなければならないと思います。社会的課題解決の行動力こそが今後の東京光の家の歩むべき方向性であり、今年がまさに重要な一〇一年目の第一歩となると思っています。

内村鑑三先生墓所 訪問

令和二年六月二十七日(土)
多磨霊園

光の家の幹部六名が都内で行われた二日間の幹部会研修を終えた後、東京光の家の生みの親ともいえる内村鑑三先生のお墓がある多磨霊園を訪問しました。

東京光の家の創立者秋元梅吉は内村鑑三先生の聖書集会に参加し熱心なクリスチャンとなりました。そしてその後、「盲人に聖書の福音を」を掲げ盲人基督



内村鑑三先生の墓参

信仰会（東京光の家の前身）を大正八年に設立しました。

したがって内村鑑三先生との出会いが無ければ、東京光の家は誕生していなかった事を思うと、とても感慨深いものがありました。

内村鑑三先生の墓碑には先生の生前からの希望で "I for Japan, Japan for the World, The World for Christ, And All for God." (私は日本の為に、日本は世界の為に、世界はキリストの為に、そして全ては神の為に。) という文字が刻まれています。

この墓碑に刻まれているように内村鑑三先生は日本を愛し、キリストを愛する日本的キリスト教といえる無教会を創設しました。今回の内村鑑三先生の墓所訪問でその無教会の影響を受けた秋元梅吉と東京光の家の原点に触れることができました。

小館美彦先生

東京光の家理事に就任



小館新理事

東京光の家の日曜聖書集会で、月に一回講話をしてくださっている小館美彦先生が、このたび光の家の新しい理事に就任されました。長年に亘り、理事として光の家を支えてくださったという篠崎友照先生の退任に伴い、去る六月二十日に行われた定時評議員会にて、小館先生を正式に新しい理事にお迎えすることが決定しました。

小館先生は現在、拓殖大学工学部特任講師として英語を担当され、また、無教会キリスト教の精神を土台に設立された学生寮「春風学寮」の寮長を務められています。

これから長年に亘り東京光の家をお支え頂きたいと思えます。

法人役員

理事長

石渡 健太郎

理事

相澤 忠一

亀岡 寛治

小館 美彦

杉山 吉昭

松本 栄二

(五十音順)

監事

白井 富士夫

藤田 洋

顧問

杉山 閑男

評議員

安藤 雄子

梅田 俊幸

加藤 保武

軽部 義和

佐川 勝宣

山引 公一

(五十音順)

ナス集
口ル特
コル策
型イ策
新ウ対

春のお楽しみ行事

光の家神愛園 春のお楽しみ会 六月十八日(木)・二十三日(公)
光の家栄光園 ハイキング(食事会) 五月十九日(公)
光の家新生園 春のハイキング 五月十二日(水)・十四日(木)
光の家就労ホーム ハイキング 五月十一日(火)

新型コロナウイルスの影響によ

り、「新しい生活様式」と「今までの生活様式」とのはざま、どのように折り合いを付けていくか、模索しているところではありますが、細心の注意を払いながら光の家の各施設でも、春のお楽しみ行事を行いました。

例年ですと、電車に乗り、観光地や大きな公園へハイキングに

行くことが定番でしたが、施設内

で利用者が喜ぶようなクイズやレクリエーションをしたり、キッチン&カフェカナンで食事会をしたり、近場の公園を巡るウォークラリーをしたりと、工夫を凝らしながら、皆さんで楽しみました。

手洗い・消毒の励行はもちろん、外出する際はマスクの着用、食事場面では、いつも以上に距離

を取って座りました。

利用者の中には、これからの行事についても不安視する声が聞かれますが、当日の皆さんは、笑顔いっぱい各施設での内容を楽しんでいらつしました。ウィズコロナの社会の中でも、皆さんの笑顔を守っていききたいと痛感致しました。



「神愛園」春のお楽しみ会



「栄光園」カナン食事会



「新生園」近くの公園でのハイキング



「就労ホーム」施設内ハイキング



ナス集
ロル特
コル策
型イ策
新ウ対

キッチン&カフェ「カナン」

お弁当販売始めました



全世界流行のコロナウイルスの影響で来店されるお客様が減り売り上げが減少する中でも、カナンの美味しい食事を届けるために、お弁当販売に力を入れて取り組んでいます。

者工賃を確保するためにも売り上げを上げる努力をしています。利用者自身も美味しい食事を届けたいという想いで店頭に立ち「いらっしゃいませ！美味しいお弁当いかがですか！！」と呼び込みを頑張ってくれています。

カナン店内で食べる料理をお弁当用に改良したり、他の卸先のお弁当を増産してカナン店頭で販売をしたりと利用



カナン 弁当販売



カナンヘルシー弁当（アボカドチキン）

光の家栄光園

通所利用者

別室で昼食をとっています

栄光園では、コロナ対策の一環として、通所利用者の方の昼食場所を、会議室としました。平日には二十人前後の方が、こちらで昼食を摂っています。

施設外からの通所という事で、入所者との接触機会を減らすことにより、ウイルスを持ち込まないための対策のひとつと位置付けています。



「栄光園」通所者昼食は別室で横並び

光の家新生園

全体朝礼

距離をとって実施中

新生園では水・金・日曜の聖書集会の他に、月曜日に新生園内の小ホールに皆が集まり、聖書を学ぶ機会として、開設当初より全体朝礼を行ってきました。しかし新型コロナウイルスの影響により三密を避ける為、場所を講堂に移し、座席間の距離を取って実施しています。今後も、聖書の学びや信仰心は変わらずに受け継いでいきたいと思っています。



「新生園」距離をとった全体朝礼

ナス集
ロール特
型イ策
新ウ対

光の家栄光園 ストレッチ 同好会

コロナ禍で、すっかり外へ出る機会が減った五月、栄光園では有志の参加で、ストレッチ同好会がスタートしました。

身体を動かした適度な疲労感、充実した睡眠や規則正しい生活にも繋がります。窓を全開にして、皆さんゆったりとストレッチに取り組んでいます。



栄光園 ストレッチ同好会

食事課

新型消毒器導入

食事課では、感染症、食中毒の予防対策として消毒器（自動手指熱風消毒器）を導入しました。三十秒の手洗いを二回行った後、この消毒器で十五秒間手を乾燥させることで、ノロウィルスをはじめとした各種ウィルス等を九十九・九%殺菌することができ、ます。光の家厨房、レストランで導入を行い、利用者、職員の感染症予防に努めています。



食事課 消毒器

YouTube 光バンド演奏

新型コロナウイルスの影がひたひたと迫る中、必死の思いでこの国の社会福祉を支える現場従事者の皆さん、「社会福祉ヒーローズ」の有志の方々が、「コロナに負けるな！社会福祉！」「ロッキーのテーマ」でやってみよう」という動画を製作しました。コロナ禍の福祉を支える現場で、全国の利用者のみなさんと、この方々の日常生活を支える職員の皆



動画のワンシーンより

さんが、利用者の変わらない生活を支えている姿を、懐かしの「ロッキーのテーマ」をバックに紹介する動画となっています。

そしてこの「ロッキーのテーマ」の演奏を担当したのがわれらが光バンドでした。

この企画への参加を要請されてからわずか一週間、二回の練習だけで、この演奏を完成させてくれました。

動画は、YouTubeにて「コロナに負けるな ロッキー」と検索するとご覧頂けます。



光バンドの出演シーンより

ナス集
コロナ特
型対策
新ウ対

緊急時の対策を整備しています 隔離ゾーン・防護服・段ボールベッド

光の家では、現在のところ新型コロナウイルスの感染や陽性者は出ていません。

しかし、もしもの時に備えて様々な準備を進めています。

まずは、感染者、陽性者が発生した場合の利用者の隔離に関する対策です。隔離する部屋の中を「レッドゾーン」、着替え用の場所として、「イエローゾーン」を設けることにしています。

「イエローゾーン」では、手袋にガウン、N95マスクというNIO SH（米国労働安全衛生研究所）規定を合格した専用マスクにフェイスシールドを装着し靴を履き替



防護服姿

えます。そして「レッドゾーン」である隔離部屋に入り、支援にあたるという万全な体制となつていきます。もちろん支援を行う職員はごく限られた職員とし、周囲の生活スペースとの接触を最小限に抑えることは言うまでもありません。

生活スペース内で隔離対応を取る際の対応については以上の通りですが、隔離対応が必要な利用者が多数になつてしまった場合の対応については、旧伊勢丹倉庫を隔離スペースとして考えています。その際、主に災害対策用として購入している災害用段ボールベッドの活用も、視野に入れていると思います。



災害用段ボールベッドの活用



施設内の講堂で輪投げ

例年旭が丘東公園を使用して盛大に開催していた夏祭りですが、今年はコロナの関係で施設内での開催となりました。全体での開催を避け施設ごとに二時間三十分の時間を設定して行いました。利用者みなさんが一番楽しんでいる模擬店ですが、今年は昼食として焼きそばやトウモロコシをフードパックに入れ、祭りの



コロナ対策用カラオケ

雰囲気を出せるように工夫し、昼食に提供しました。ジュースやポップコーンなどは省スペースでの模擬店でしたが、とても賑わっていました。盆踊り、カラオケ、休憩所、模擬店と部屋を変え、密集を避ける配置で行いました。いつもと違う中でしたが笑顔が絶えない夏祭りとなりました。

2020
ふれあい夏祭り
令和二年七月二十日(火)
会場：東京光の家に
あひま

光バンドチャリティーコンサート 愛のサウンドフェスティバル



■日時：令和二年九月十三日(日)

開場十四時・開演十五時

■会場：KOTORIホール(昭島市民会館)

東京都昭島市つつじが丘三丁目七-七

■交通：JR青梅線 昭島駅下車 北口徒歩六分

■福祉協力券：一枚二,〇〇〇円

■お問い合わせ先：社会福祉法人 東京光の家

電話 〇四二(五八二)三三四〇

◎このコンサートの売上金の一部を福祉団体に寄付致します。

第43回 東京光の家 チャリティー バザーに

物品提供を



東京光の家のチャリティーバザーに多くの皆様のご協力をお願いいたします。

★期日：〇月十一日(日)

一〇時より

★会場 東京光の家内

★提供品についての希望

日用品・おもちゃ・文具・雑貨品・食器・食品・衣料品新品同様のもの・古本・CD・DVD等

★お断りしているもの

家具・中古の電気製品・布団・雛人形・五月人形・ゴルフセット・スキー等

★提供品受付期間

九月末頃まで

※ご連絡頂ければ回収にお伺い致します(多摩地区のみ)。

※尚、当日にお手伝いをしていただけるボランティアの方達を募集しています。

寄付者名簿

令和二年四月一八日
～七月一四日

井川 寿美江様 手作り布マスク 二七〇枚
高木 美恵子様 紙マスク 百枚

ザネクレーム 八本
チョコラBB 三〇本
AAR ロゴステッカー 一枚

フアリア 米山 知子様 マスク 一五〇枚
湯浅 様 プラスチックコップ 三百個

株式会社リードリアルエステート 長原英司 様 米 一〇kg
日野旭が丘郵便局 様 布マスク 六枚

高木 啓一様 マスク 一千枚
宮田 俊晴様 米 三〇kg
㈱オフ・ノスマティックス 代表取締役社長 吉直 治様 マスク 三百枚

大久保 あかね 様 手作りショートケーキ 六〇個
古川 裕子 様 手作り生ケーキ 五八個

株式会社クリーニングテック 様 薬用手洗い石けん マスク 六本
川野 清巳 様 マスク 二千枚

津田 早苗 様 マスク 一四枚
遠藤 宏 様 マスク 五〇枚
浅石 常勝 様 マスク 百枚

渡辺 澄男 様 マスク 二五〇枚
荒百合子 様 マスク 三百枚
氏家 優子 様 マスク 五〇枚

一般社団法人東京馬主協会(東京善意銀行) 様 マスク 二五〇枚
仲間 君代 様 マスク 一八枚

平賀 真優美 様 手作り布マスク 八枚
加納 美津子 様 手作り布マスク 二枚
辰巳産業株式会社 様 ハンドジェル 二本

浅井 真理子 様 マスク 一四枚
土屋 いち子 様 さくらんぼ 四kg
すいか 四kg
かぼちゃ 二kg

発行 行 〒一九一〇〇六五

東京都日野市旭が丘一七-一七

社会福祉法人 東京光の家

電話 〇四二(五八二)三三四〇
FAX 〇四二(五八二)九五六八